



先月末に園庭のリニューアルをしました。老朽化したジャングルジムを撤去し、新たに築山を作りました。前回より少し高くなった築山で子どもたちがどんな遊びを展開していくかとても楽しみです。安全を見守り楽しんでいきたいと思います。

先日2歳児クラスに行くと数人の子がままごと遊びを楽しんでいました。そこへ別の子が「いれて」とやってきましたが、先に遊んでいた子たちは自分たちの遊びが盛り上がっていたので今は他の子に入って欲しくない様子で「だめよ」と返しました。保育士がごっこ遊びの雰囲気壊さないようにしながら「お土産があるの」と仲立ちしましたが、「だめ」と頑なです。保育士のやりとりをきいていた入りたい子は急いで積み木のせんべいを作ると「ウーオー（食品の配達サービス）です」と早変わりしました。「やった、たべよう」とままごとのお家に招かれ一緒にごっこ遊びを楽しむことが出来ました。大人から友達へと関わりが広がる中で保育士が柔軟な仲立ちをしながら友達と遊ぶのが楽しい子どもたちになるよう保育を展開していきます。

今月からプール、水遊びが始まります。保護者の方と子どもたちの健康状態を共有し、安全で楽しい活動にしていきたいと思います。健康チェック、水遊びの準備等ご協力よろしくお願いします。

行事予定

プール開き	3. 4. 5歳児
七夕	3. 4. 5歳児
夏祭り	全園児
笹焼き	3. 4. 5歳児
身体計測・避難訓練	全園児

保健室より



◎虫よけ対策について

暑くなり、蚊が飛び始める季節になりました。虫刺されが気になるお子さんは、ご家庭で虫よけスプレーをしたり薄手の長袖の着用をお願いします。

◎暑さ指数について

園では熱中症対策として、気温や暑さ指数を参考に於て戸外遊び・水遊びの可否の判断をしています。



～今、こんなことに夢中です～



ひよこ組（0歳児）

手に持ったボールを床や箱にトントンと当てて感覚を楽しんでいた時、手からボールが離れ穴の中に入りました。持っていたボールがなくなり「おっ」と驚きの表情になっています。保育士が「ポットンって入ったね」と同じように落とすと、穴をのぞいたり手を入れたりしています。手に何か触れると“あった”という表情で穴の中からボールをつかんで取り出し、また箱に手を伸ばしています。「ボールあったね」「もう一回ね」と応えると、また穴に入れようとしています。子どもたちは穴や隙間が大好きで、なんだろうとのぞき込んだり何かを入れてみたり探索を楽しんでいます。



りす組（1歳児）

一人がままごとのおスカートを履くと、それを見た他の子も履き始めおでかけの準備が始まります。人形をおんぶしたり、車を引いたり皆思い思いのスタイルです。手に持つ鞆の中にはいっぱいチェーンリング。好きな色だけを選んだプレートやお気に入りの色水ボトルを1本だけいつも入れている子もいます。スカートは2枚履きたい、帽子は縦にかぶると自分なりのこだわりもあり、上手い出来ない時には保育士に手伝ってもらい満足そうに手を振ってさあ出発です。友達と並んだり、顔を見合わせ笑い合ったりしながら部屋を行き交っています。





うさぎ組（2歳児）

ダンゴムシを見つけた子が「いたよ」と大きな声で知らせると、その声を聞いて虫好きの子どもたちが集まり頭を寄せて見えています。ダンゴムシを自分の手にのせたくてつまんでみますが、力の加減がわからず動かなくなってしまいました。

「動かないね」と保育士が悲しい表情をすると、じっと保育士の顔と虫を見えています。毎日ダンゴムシ探しに夢中になっていたある日、手の平にのせたダンゴムシが動いて「うごいた」と驚き、嬉しそうに眺めていました。今ではつんと触って「丸まった」と喜んだり、「お手で散歩してる」と腕に乗せたりと触れ合いを楽しんでいます。



こぐま組（3歳児）

雲梯にロープを結んでぶら下がり遊びが始まりました。ぶら下がろうとしますが手が滑りずり落ちてしまいます。もっと上を握ろうとマットを何枚も運び足台を作って挑戦していくと、ぶら下がるようになりました。上手にぶらさがれる子がでてくると、「どうやるの」と友達が聞いています。「手はちゃんと持っててよ」「足はこうやって縄をつかんでみて」と伝え、教えた子も心配そうに見ています。そして友達がぶら下されると「できたできた」と声を掛け自分のことの様に嬉しそうに喜びあっていました。



らいおん組（5歳児）

夏祭りのおみこし作りにむけて、近所の神社、お寺に散歩に出かけました。仁王像や狛犬を見比べ、左右の違いがあることや、龍や七福神が飾られていることなど、沢山のことを発見しています。どんなおみこしを作ろうかと話し合うと、「柱と狛犬の下の台に龍がいたんだよ」「きっと龍って強くて神様を守れるんじゃない。だから龍をつけたい」という意見が出ました。早速保育士が新聞紙などを用意すると、「もっと体は大きくなって、しっぽが細くだよ」「長くしようよ」と、子どもたちがイメージを膨らませながら作っていきます。“こうやって作りたい”というイメージを言葉にして伝えたり、実際に作ってみて互いのアイデアを合わせたりして、おみこし作りが進んでいます。



ぞう組（4歳児）

「お面作りたい、こういうの」と紙を自分のおでこにあて、一人の友達がお面作りを始めました。顔を描きはさみで切り取ります。描いた線が切れてしまうと悔しそうにしながら何度も描き直し、「できた」と嬉しそうに顔につけながら遊び始めました。見ていた友達も鬼のお面を作り、完成すると面を被り両手を上げ足を踏み鳴らしながら「鬼だぞ」と凄む様な声を出し、周りの子は節分を再現して豆を投げる真似をしています。どんどん友達が集まり私も僕もと、うさぎやねこ自分の顔と、オリジナルのお面を作って変身することを楽しんでいました。友達の遊びをヒントにアイデアを出し、遊びを自分のものにしながら楽しんでいきます。

